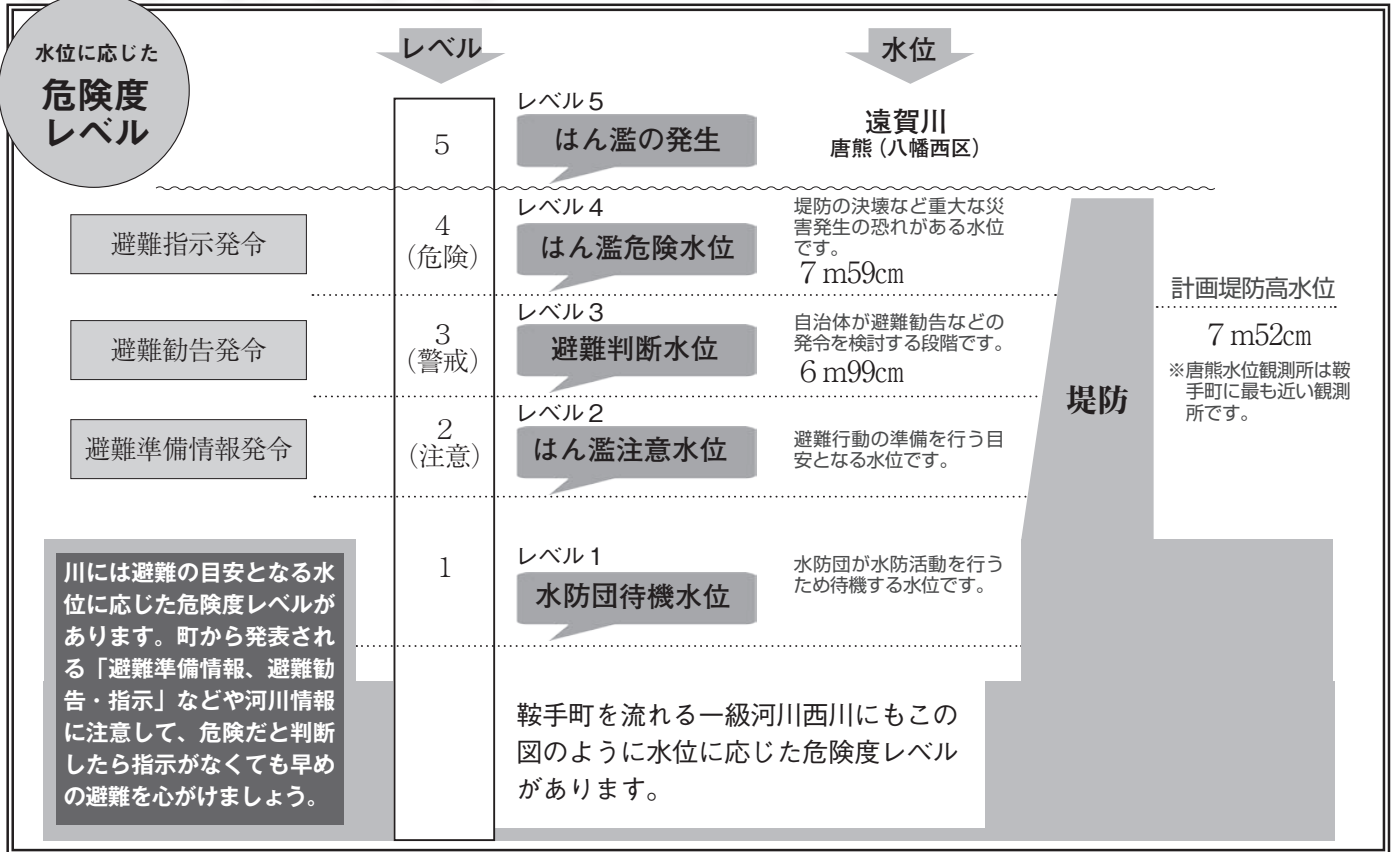


# 防災知識

日ごろから住んでいる町の災害危険度レベルを知っておくことは、とても重要なことです。今回は水位に応じた危険度レベルと土砂災害について確認しましょう。



土砂災害から身を守るためには、私たち一人ひとりが土砂災害に対して日ごろから備えておくことが重要です。ここでは、土砂災害から身を守るために最低限知っておくべきポイントを紹介します。



## (1) 住んでいる場所が「土砂災害危険箇所」であるかどうかを確認する

土砂災害発生の恐れがある地区は「土砂災害危険箇所」とされています。住んでいる場所やその周辺が土砂災害危険箇所であるかどうか、福岡県砂防課のホームページで確認し、災害に備えましょう。

## (2) 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する

雨が降り出したら「土砂災害警戒情報」に注意しましょう。土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、市町村長が避難勧告などを発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。気象庁ホームページや福岡県砂防課などのホームページで確認しましょう。

● 気象庁ホームページ	<a href="http://www.jma.go.jp/jma/index.html">http://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>
● 福岡県砂防課ホームページ	<a href="http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp">http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp</a>

## (3) 土砂災害の前兆現象にも注意

土砂災害は次の3種類に分けられます。次のような現象を確認した場合は早めの避難をしましょう。

<b>■がけ崩れ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>がけからの水がにごる</li> <li>地下水やわき水が止まる</li> <li>斜面のひび割れ、変形がある</li> <li>小石が落ちてくる</li> <li>がけから音がする</li> <li>異様な匂いがする</li> </ul>	<b>■土石流</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>山鳴りがする</li> <li>雨が降り続けているのに、川の水位が下がる</li> <li>川の水がにごったり、流木が混ざる</li> </ul>	<b>■地すべり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地面にひび割れができる</li> <li>井戸や沢の水がにごる</li> <li>がけや斜面から水が噴き出す</li> <li>家やよう壁に亀裂が入る</li> <li>家やよう壁、樹木、電柱が傾く</li> </ul>
---	--	--

次のポイントをおさえておきましょう

- ①住んでいる場所が土砂災害の被害を受けやすい場所かを確認。  
造成地、扇状地、山岳地帯の確認をする。
- ②土砂災害警戒情報に注意。  
福岡県の土砂災害危険度情報を確認。
- ③日ごろからの備えが大切。  
避難場所や避難の道順を決めておく。
- ④危険を感じたら早めの避難を。

いざというときのために実際に災害が発生したときのことを想定して、各自ですべきことや非難場所、連絡方法を家族で話し合っておきましょう。

広報車の呼びかけに注意する。  
高齢者など災害時要援護者は早めに避難。